



室戸市とは

人口・・・約7200人
面積・・・248,22km²

特殊な海岸段丘
H23年 世界ジオパークに認定
自然・文化を生かした観光

室戸市の課題①

○交通手段の悪さ

- ・高速道路が通っていない
- ・汽車がない

→車でクネクネした道を通るしかない！

室戸市の課題②

○子供が楽しめる観光地が少ない

室戸の観光地の例...

寺、神社、海辺など

課題解決に向けての仮説

- ① 高速道路を伸ばす
・自転車、バイク、自動車のレンタルを充実させる
→数を増やす
- ② 子供が楽しめるアスレチックを増やす
例：山にアスレチックを作る
(ジップライン、フィールドアスレチック)

仮説① 高速道路の現状

高知県庁土木部道路課企画担当

奈半利町までは計画あり
高知県で58%しかできていない

条件

津波がきてもつかからない高さ
中心部同士をつなぐもの→室戸にはいらない??

仮説① 室戸市のレンタサイクル

室戸ジオパークセンターより

利用者数 (4月～7月) 1～3組 3台
(8月～10月) 月13組 約16台

年齢層 20～30代前半が多い

高松市のレンタサイクル

高松市交通政策課より

利用者数 年30万件
年齢層 高校生から(通勤・通学)

しかし・・・

収入<費用

条件
「平坦な道」

→室戸市には向いていない

仮説①の考察

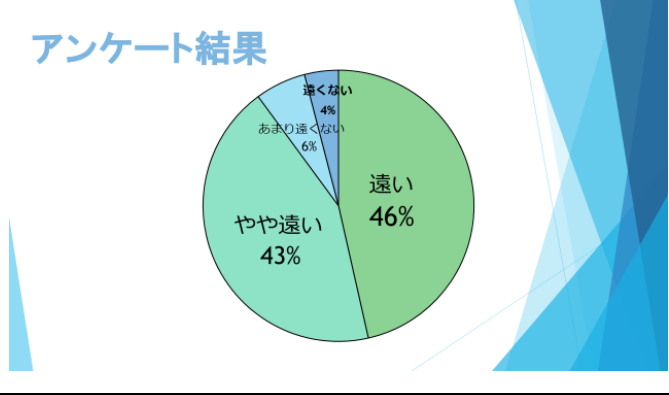
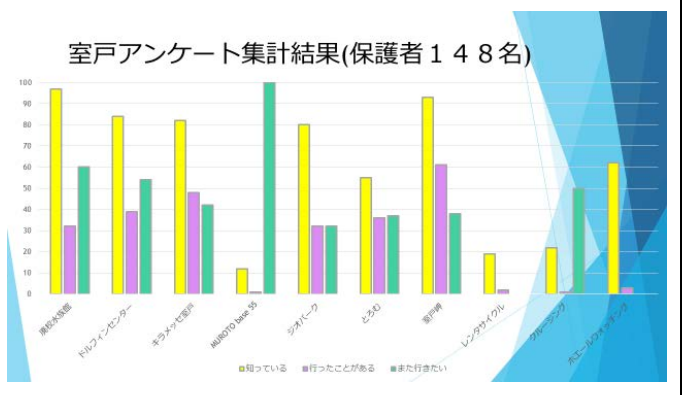
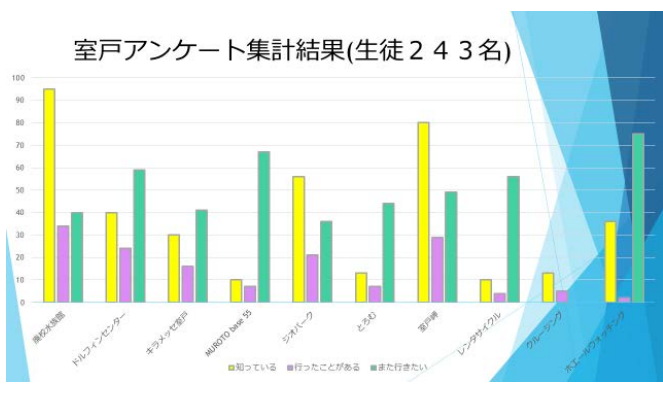
- ① 地形、立地、距離などにより室戸の高速道路の設置はほぼ不可能
- ② 交通手段のレンタルサービスも室戸市には不向き

仮説②の考察

室戸に来る年齢層とフィールドアスレチックで遊ぶ年齢層に差がある！

↓

フィールドアスレチックは室戸に向いてない



仮説③

MUROTO base 55
室戸ドルフィンセンターの宣伝活動

「情報」を売る！！(IKEAの家具など)

宣伝方法：新聞、チラシ、CM、ネット広告、動画など各種メディア

アンケートからの考察

Q. 室戸のあればいいと思うもの

A. 「手頃な価格のレストラン」など、食べ物系の回答が多かった (特に金目鯛)

仮説④

「魚好き」「金目鯛好き」にターゲットをしばったサービスを提供する！

→ コアなファンをつくる！

室戸外・・・金目鯛そば (ピン詰め)

→手軽に手をつけられる

「室戸=金目鯛」のイメージの浸透

ネットショップで販売されている「新潟加島屋」の鯛そば

室内・・・金目鯛茶漬、金目鯛汁、金目鯛飯、フライ、しゃぶしゃぶ、刺身など

→室戸でしか食べられない！

価値の希少化 (ブランド化)
金目鯛好きを意識

「むろと金目隊」の創設

「むろと金目隊」とは？

金目鯛好きの、金目鯛好きによる、金目鯛好きのための組織。室戸の金目隊の宣伝活動を行う。

※室戸の金目鯛を食べれば誰でも入隊可

まとめ

- I.ドルフィンセンター MUROTO base 55の宣伝強化
- II.金目鯛のコアなファンづくり

→「観光都市 室戸」に！！

参考文献

- ▶ 四国観光ガイド「鉄道 乗り物」
(<https://www.hankyu-travel.com/guide/chuushikoku/train.php>) (2020年7月1日閲覧)
- ▶ 新潟 加島屋HP (<https://www.kashimaya.com/>) (2020年12月1日閲覧)